

計量経済学史・比較経済思想

池尾 愛子 教授

1) 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

経済学の国際化について、日本の経済学者達の国際貢献に光をあてる形での研究成果が、A History of Economic Science in Japan: Internationalization of Economics in the Twentieth Century (Routledge, 2014) です。海外の研究者達から、私は「数理経済学の歴史」を研究してきたとみなされています。その理由は、日本の経済学者達が、西洋の初期の経済学文献を読んだ時、西洋の伝統文化から切り離して経済研究を進めたからです。そして彼らからの質問やコメントに応じる形で、明治期の経済学者天野為之(早稲田大学商学部の創設者)や近世の二宮尊徳にも注目しました。『日本の経済学: 20 世紀における経済学の国際化』(名古屋大学出版会、2006 年)、『20 世紀の経済学者ネットワーク』(有斐閣、1994 年)、『赤松要』(日本経済評論社、2008 年)、編著『日本の経済学と経済学者』(日本経済評論社、1999 年、英語版、2000 年)、共編著 A History of Economic Theory (Routledge, 2009)も御覧ください。

現在の研究テーマは次の通りです。(1) 日本のエネルギー政策思想史について共同研究。(2) 東アジアの金融政策・経済政策の歴史のグローバルな視野から研究。例えば、国際経済機関の役割を考慮しながら、1997 年の東アジア通貨危機と 2008 年の金融危機への対応を比較する、日本と ASEAN の経済関係を考察する等。(3) 計量経済学の歴史的展開。(4) 天野為之。いずれの研究においても、技術進歩の影響に注目しています。

2) 指導方針

私の研究指導を希望される方には、標準的な経済学(マクロ経済学、ミクロ経済学、計量経済学)の歴史的展開を押さえた上で、自分の研究テーマを選んでいただきます。

3) 学生に対する要望・その他

交換留学あるいは語学留学の経験を積む、海外の大学院生向けサマースクールに参加することを要望します。